

豊島区の現状と課題

1.基礎データ (P2～)

- ①人口の推移
- ②年代別の割合
- ③世帯構成
- ④外国人の割合

2.スポーツに関する意識調査 (P6～)

- ①スポーツを行っていない理由
- ②スポーツを行っている理由
- ③スポーツを行っている場所
- ④スポーツ実施率
- ⑤スポーツの観戦状況
- ⑥スポーツボランティア参加率

3.豊島区スポーツ施設について (P12～)

- ①豊島区スポーツ施設一覧
- ②豊島区スポーツ施設（地図）

4.障害者のスポーツについて (P14～)

- ①障害者の現況
- ②障害者のスポーツ実施率
- ③障害者のスポーツへの興味

5.子どものためのスポーツ施策 (P17～)

- ①区民による事業提案制度

6.部活動の地域移行について (P18～)

- ①豊島区の部活動の地域移行について

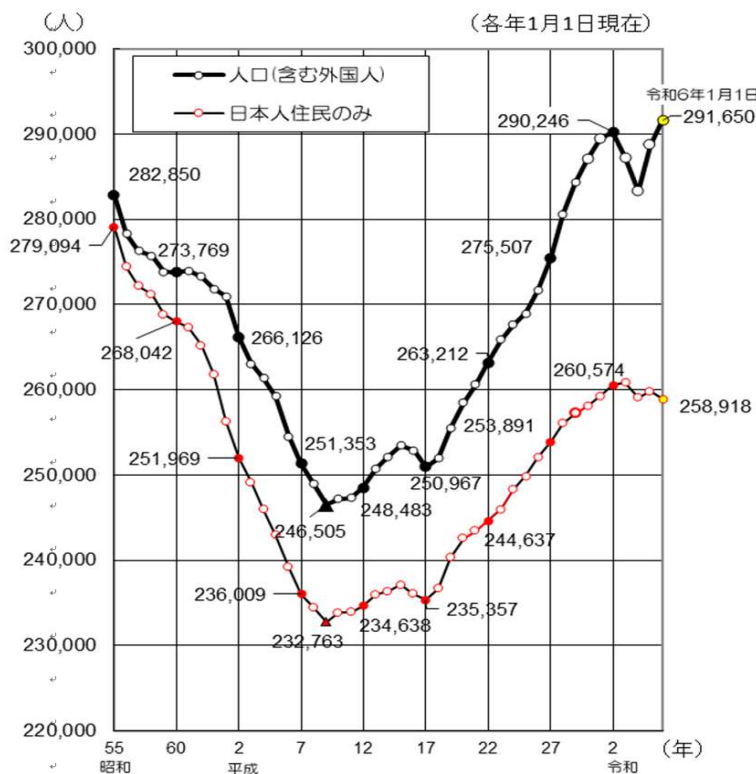
1.基礎データ

①人口の推移

- ・ 令和3年、4年と減少したが**再び増加**となった
- ・ 高齢者の割合は**19.4%**で、23区の中で比較すると7番目に低い
- ・ 年少者の割合は**8.9%**で、23区の中で比較すると3番目に低い
- ・ 高齢者への働きかけが課題となってくる

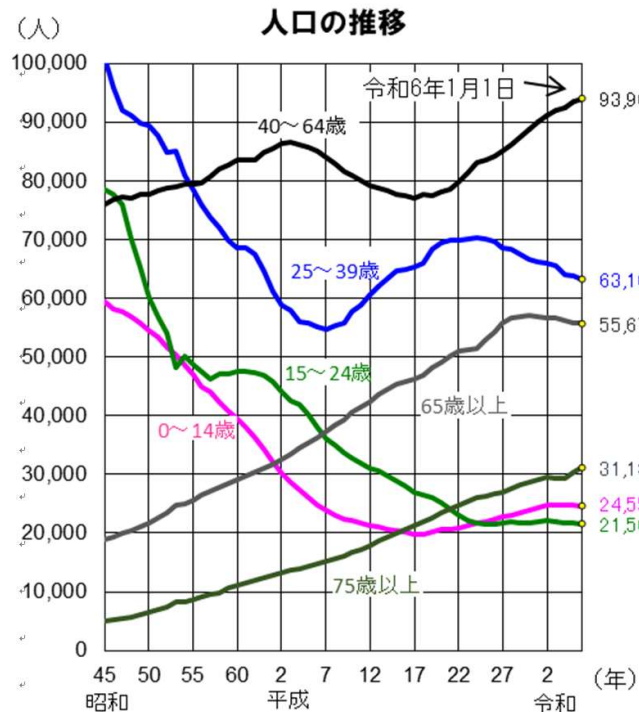
少子高齢化の進展

豊島区の人口の推移

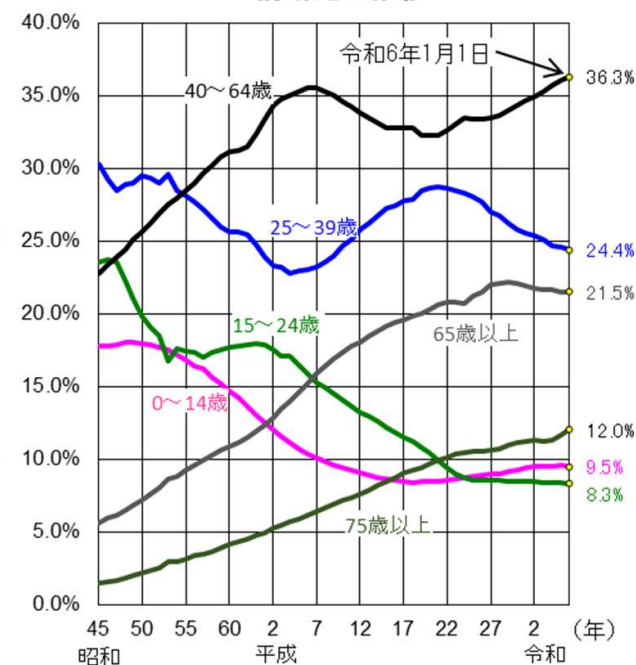


（未来戦略推進プラン2024 P5より）

豊島区の年齢構成別人口の推移



構成比の推移



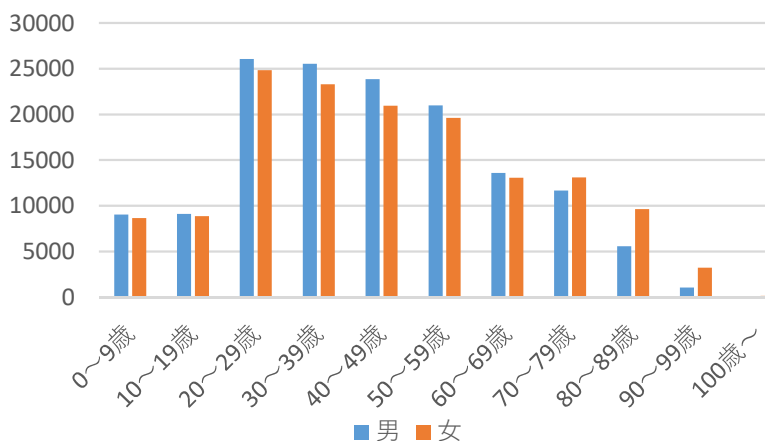
（未来戦略推進プラン2024 P7より）

1.基礎データ

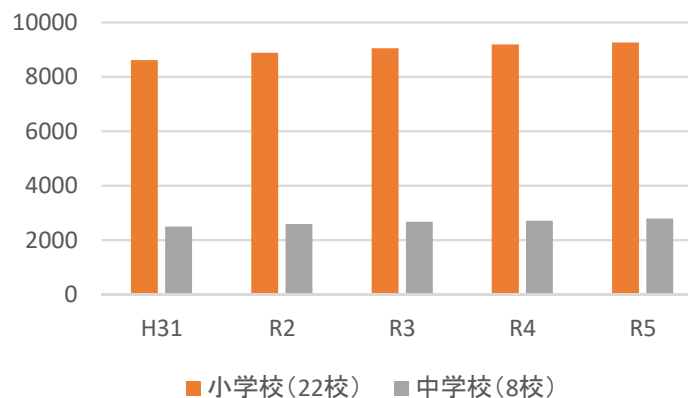
②年代別の割合

- ・年代別にみると、20代が一番多く、20歳以下の割合はかなり少ない
- ・豊島区内には、小学校22校/中学校8校あり、生徒数は微増している
- ・年少者の割合は平均よりもかなり少なく、少子化が深刻となっている
- ・高齢者の割合は平均よりも低いが、豊島区の高齢者の人数は年々増加している

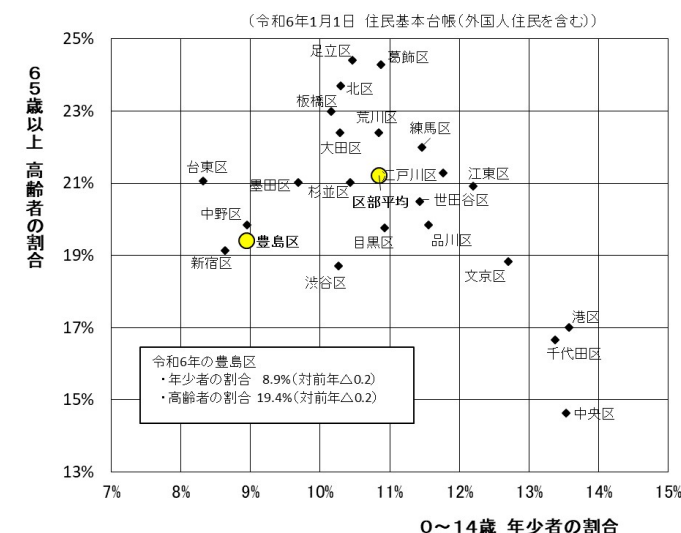
豊島区年齢別グラフ



豊島区内小中学校生徒数



高齢者と年少者の割合の比較



総人口：291,650人
 男性：146,383人
 女性：145,267人

(R6.1.1時点)

単位: 人

	H31	R2	R3	R4	R5
小学生	8,620	8,888	9,055	9,194	9,262
中学生	2,489	2,596	2,675	2,708	2,795

(R5年度時点)

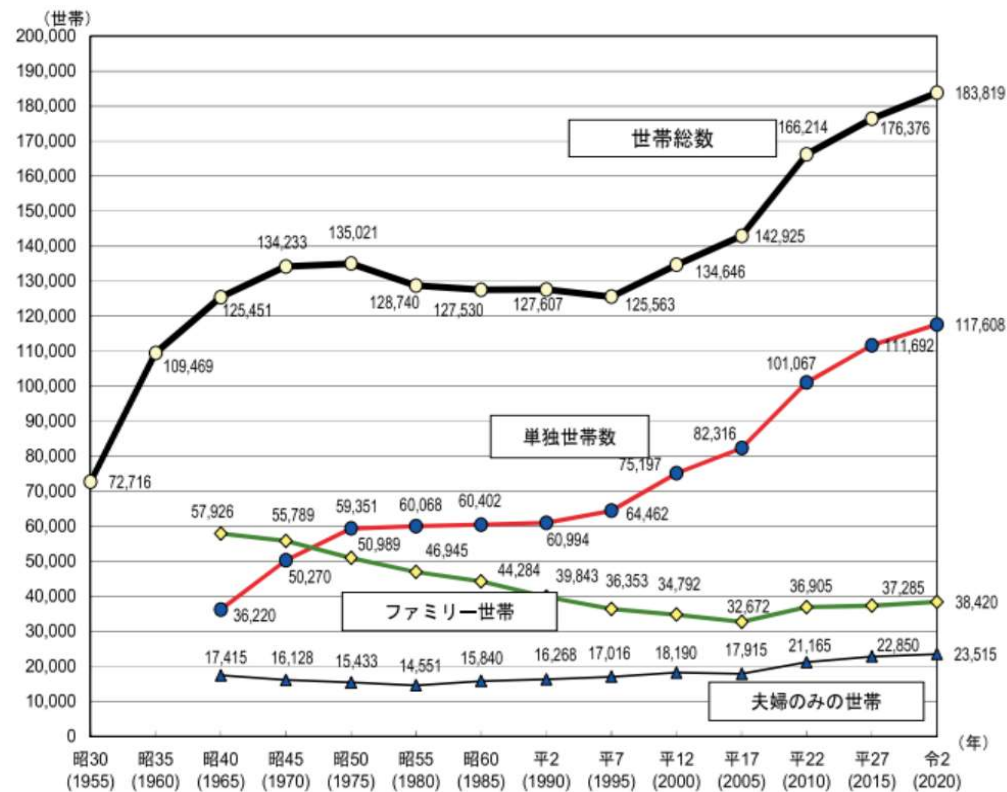
(未来戦略推進プラン2024 P7より)

1.基礎データ

③世帯構成

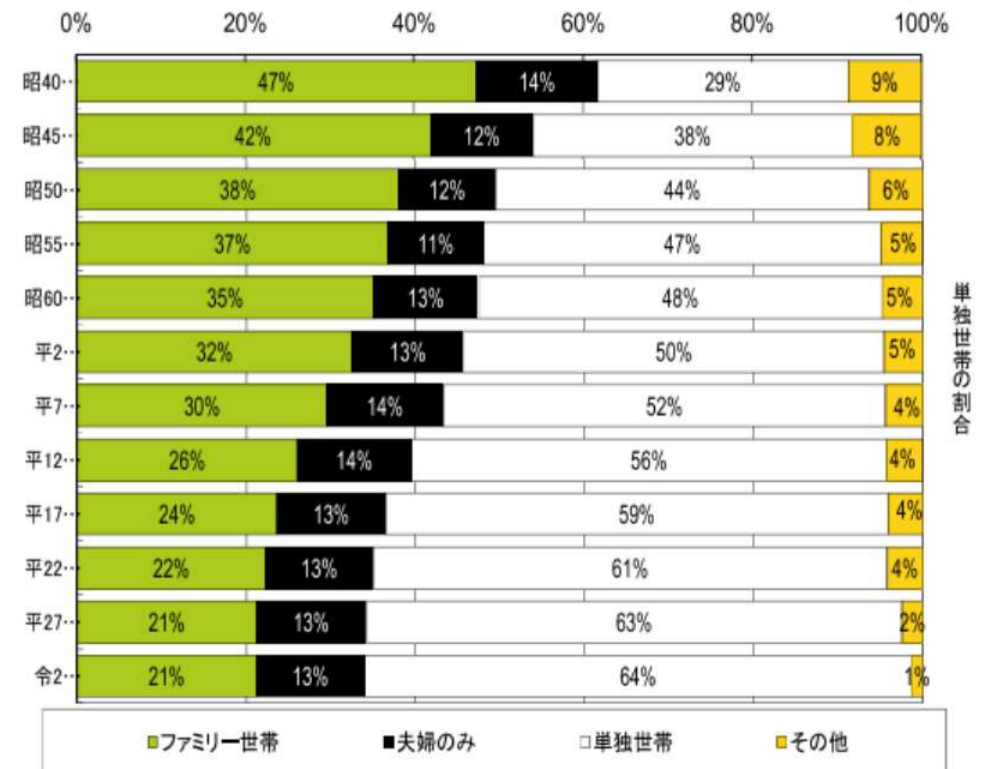
- ・ 区の世界総数は増加傾向にある
- ・ 特に「**単独世帯**」の割合は著しく**増加**しており、全体に占める割合は**64%**となっている
また、**一人暮らしの高齢者**の割合は**日本一高い**
- ・ 23区の中で比較すると、「単独世帯」の割合は3番目に高く、「ファミリー世帯」の割合は3番目に低い

豊島区の世界類方別推移



(令和2年国勢調査)

豊島区の世界類別構成比



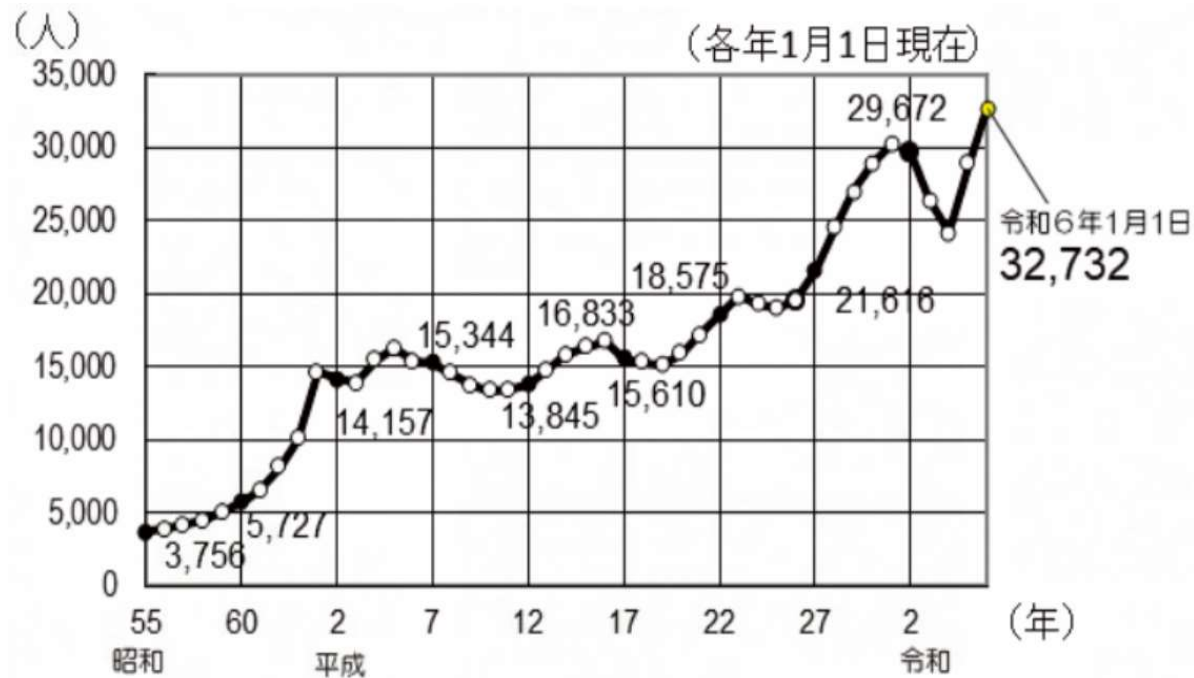
(令和2年国勢調査)

1.基礎データ

④外国人の割合

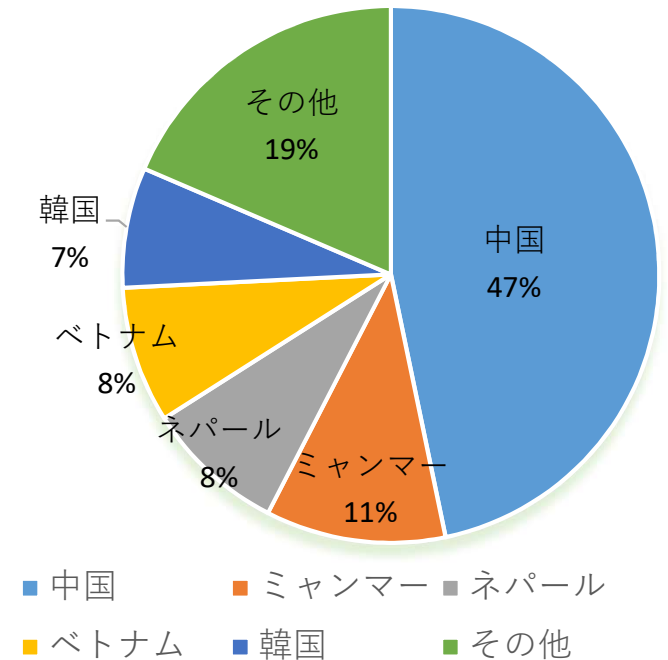
- ・ 外国人の割合は増加傾向にあり、**豊島区人口の約11%**を占めている
- ・ 23区の中で比較すると、**2番目**に割合が高い
- ・ 国籍別にみると、中国籍の割合が圧倒的に多い
- ・ 外国人への働きかけが課題となってくる

豊島区の外国人住民数の推移



(未来戦略推進プラン2024 P5より)

国籍別の在留外国人数



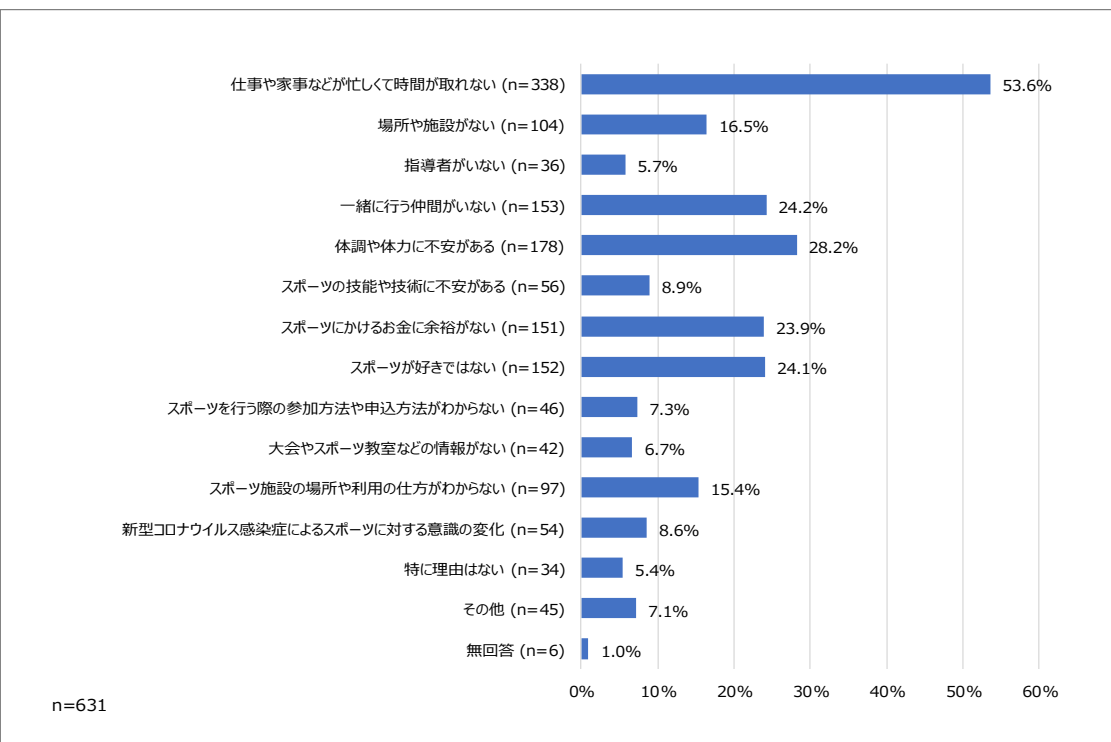
(令和6年1月1日現在)

2.スポーツに関する意識調査

①スポーツを行っていない理由（問11）

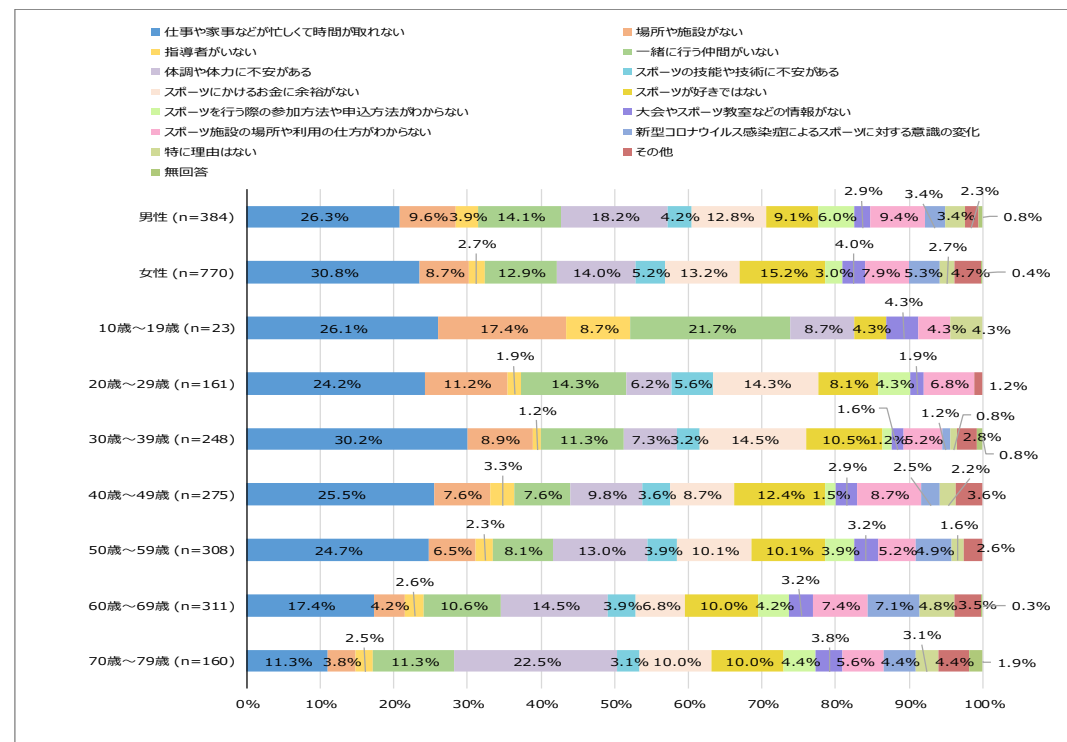
- ・「仕事や家事など忙しくて時間が取れない」という回答が多い
- ・年齢別にみると、10代20代は一緒に行く仲間がいない、20代30代はスポーツにかかるお金に余裕がないという理由も多くなっている
- ・各年代ごとへの働きかけが課題となってくる

行っていない理由



（令和5年実施意識調査報告書 問11 P13）

性別・年齢別 行っていない理由



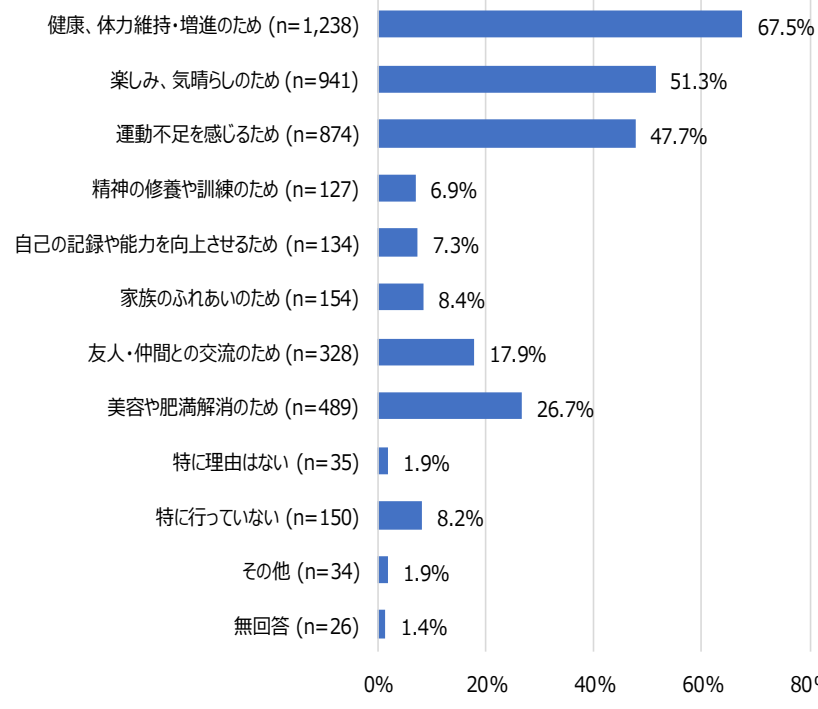
（令和5年実施意識調査報告書 問11 P15）

2.スポーツに関する意識調査

②スポーツを行っている理由（問14）

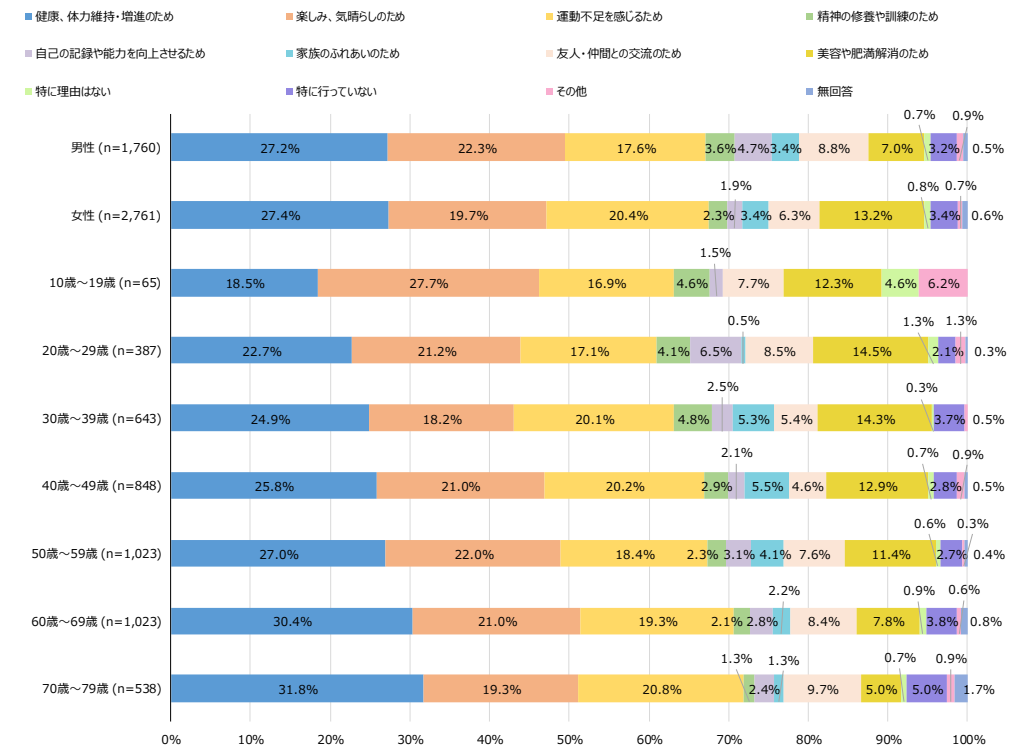
- ・年代が上がるにつれて「健康・体力維持・増進のため」という理由が多い
- ・年齢別にみると、10代は「楽しみ・気晴らしのため」という理由が多い
- ・継続してスポーツに取り組むことのできる環境整備が課題となってくる
- ・スポーツを通じてウェルビーイングの実現も目指していく

行っている理由



（令和5年実施意識調査報告書 問14 P22）

性別・年齢別 行っている理由



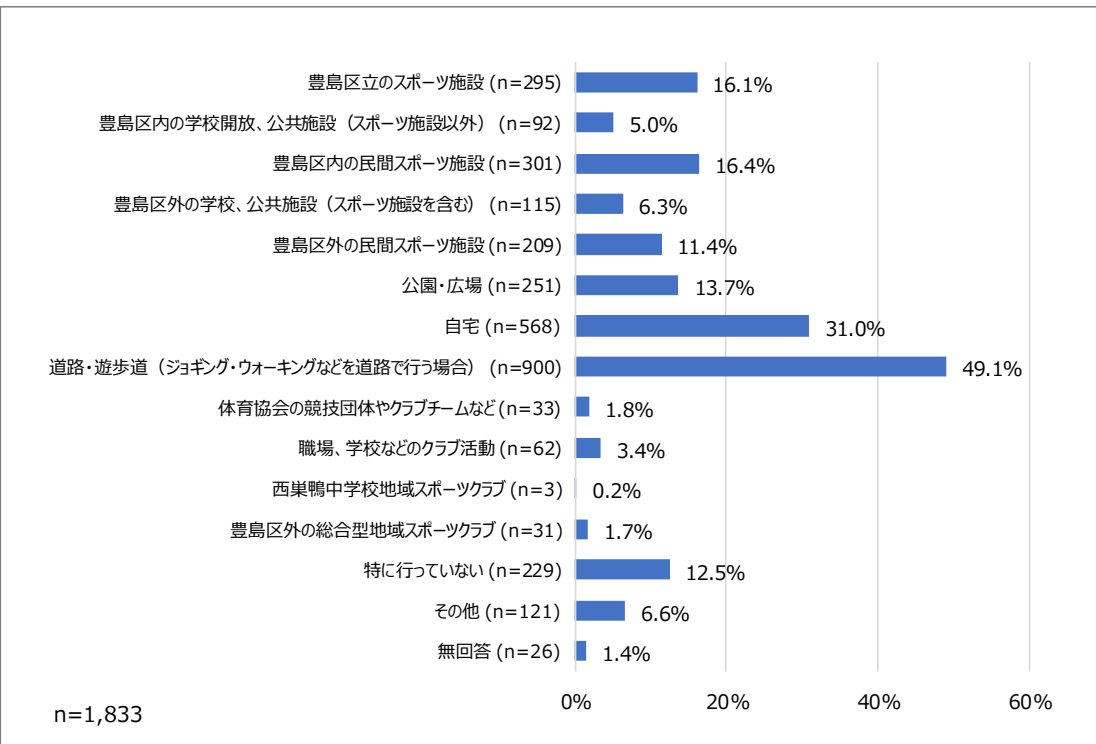
（令和5年実施意識調査報告書 問14 P24）

2.スポーツに関する意識調査

③スポーツを行っている場所（問15）

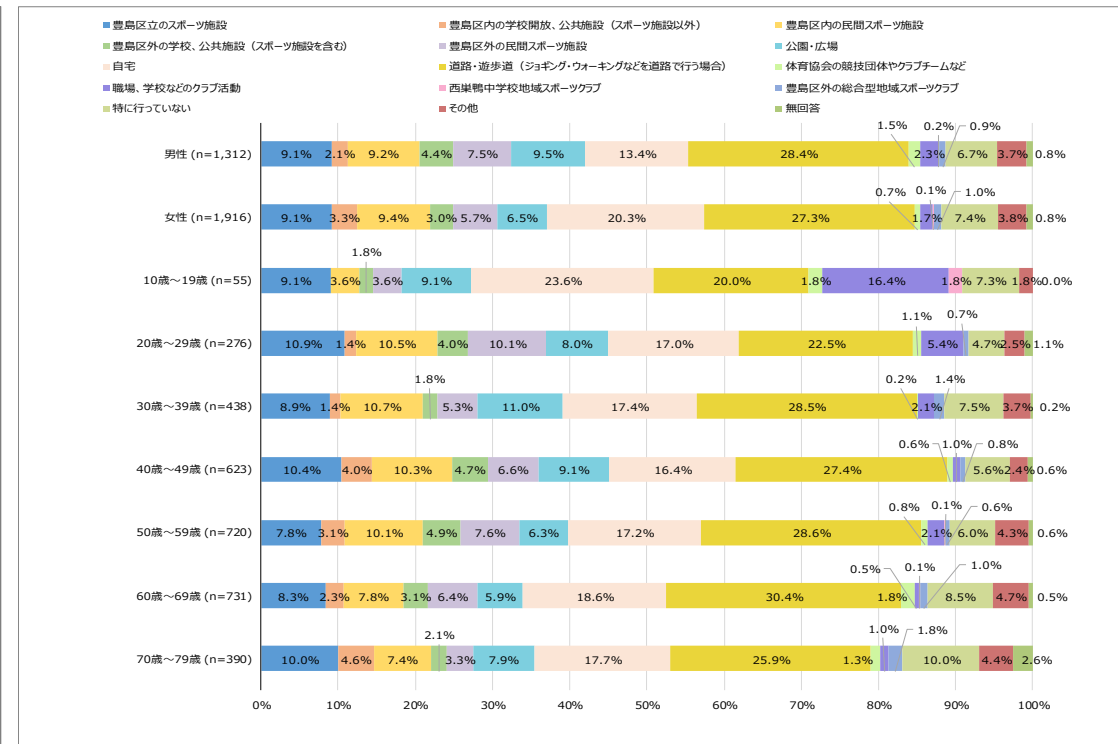
- ・道路/遊歩道の割合が高く、区内の学校開放の割合が低い
- ・区立のスポーツ施設よりも、区内の民間スポーツ施設の方がやや高い
- ・区内施設の利用促進や、環境整備が課題となってくる
- ・また学校開放の利用促進や周知も課題となってくる

行っている場所



（令和5年実施意識調査報告書 問15 P25）

性別・年齢別 行っている場所



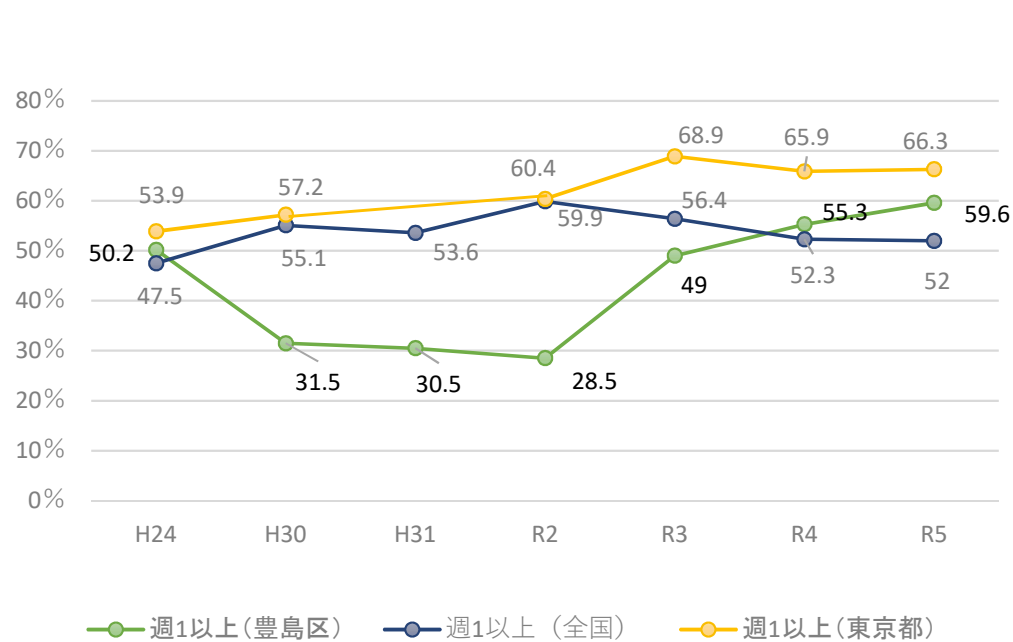
（令和5年実施意識調査報告書 問15 P27）

2.スポーツに関する意識調査

④スポーツ実施率（問18）

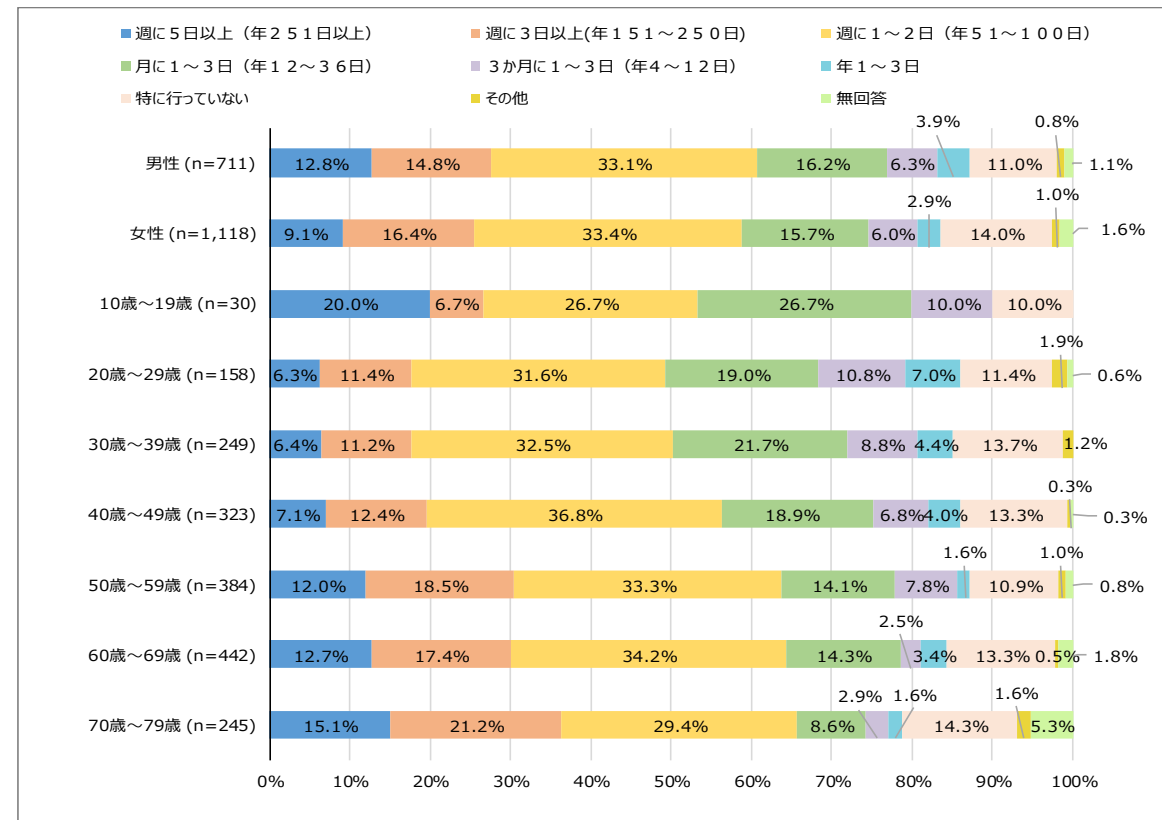
- ・コロナ禍は著しく下降しているが、**令和3年度以降は上昇**している
- ・年齢別にみると、**10代から40代**が全体と比べたときの週1回以上の実施率が低い
- ・スポーツ実施率が低い層への働きかけが課題となってくる

週1回以上スポーツを行う成人の割合



性別・年齢別

週1回以上スポーツを行う成人の割合

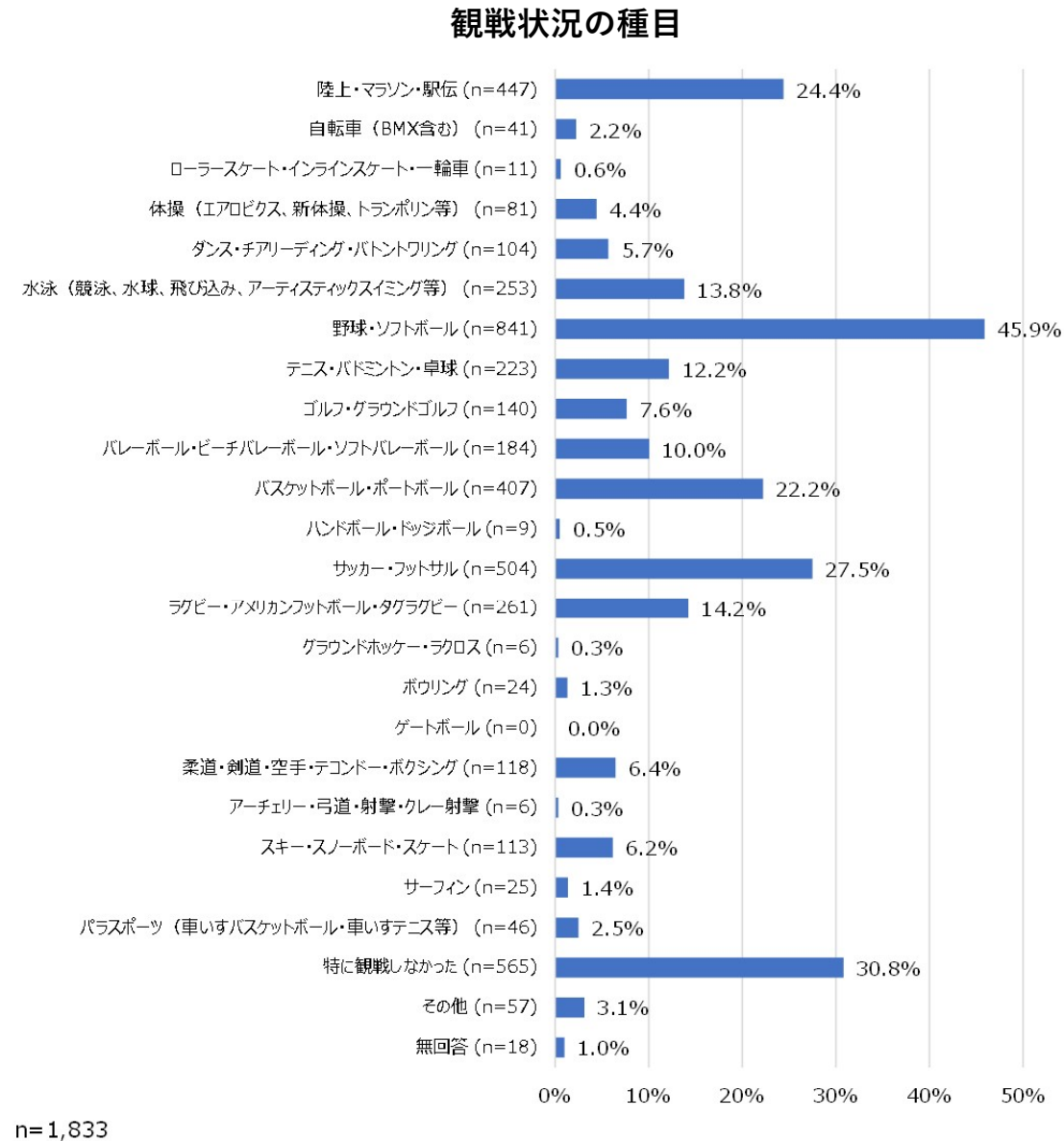


(令和5年実施意識調査報告書 問18 P33)

2.スポーツに関する意識調査

⑤スポーツの観戦状況（問21）

- ・ 1年間で観戦したスポーツについては、「野球・ソフトボール」が45.9%と最も多い
- ・ また、「とくに観戦しなかった」割合は2番目に多く、観戦に積極的ではない層も多い
- ・ 「とくに観戦しなかった」割合は10代と70代が10%未満なのに対し、30代は18%を超えており年代別に差が見受けられる
- ・ スポーツを「**する**」だけではなく、**スポーツを「みる」**という形での自発的な参画を通して、楽しさや喜びを感じていくことを目指す



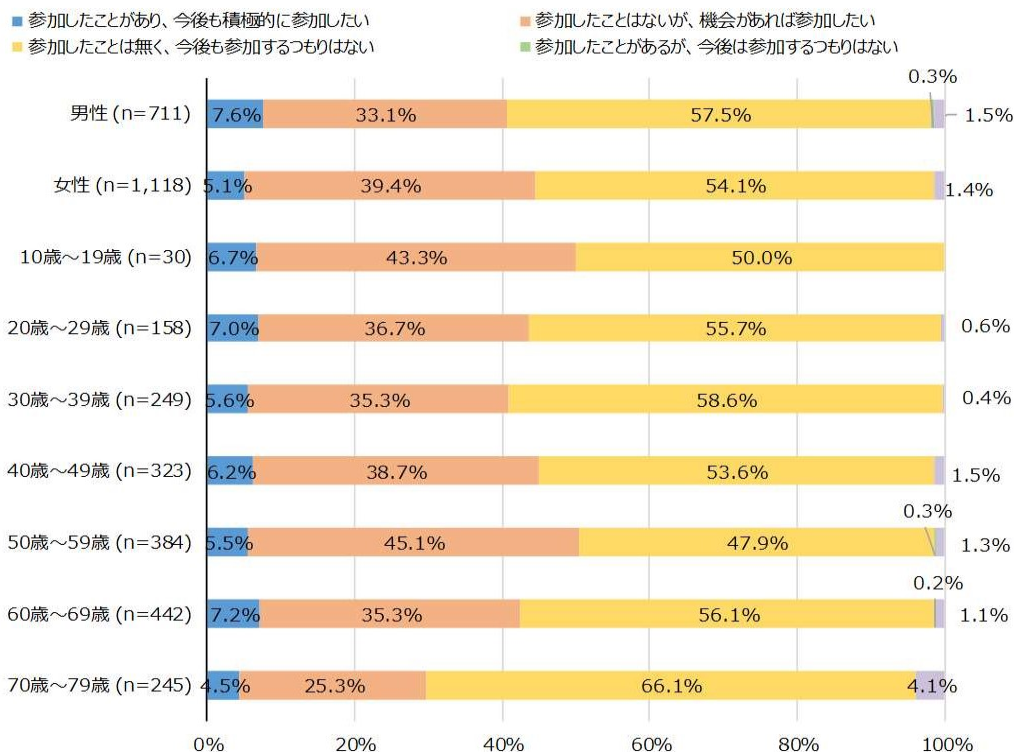
(令和5年実施意識調査報告書 問21 P39)

2.スポーツに関する意識調査

⑥スポーツボランティア参加率（問27、28）

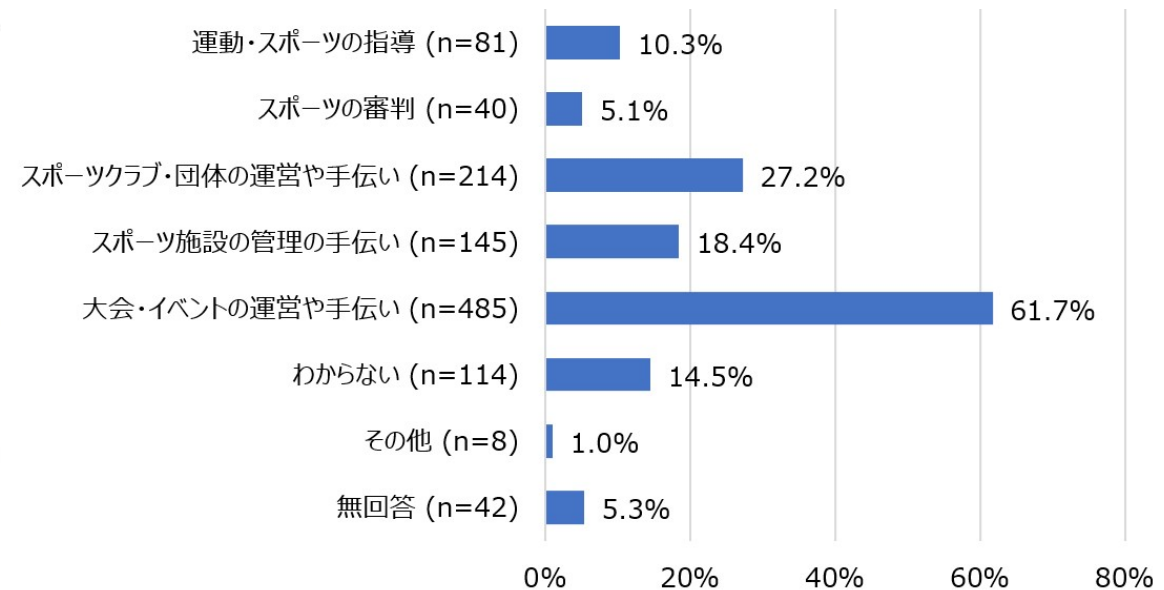
- ・ ボランティア参加率は6.1%と非常に低いが、機会があれば参加したい割合は36.8%と興味がある層への働きかけが課題となってくる
- ・ 年齢別にみると、60代の7.2%が最も多く20代の6.7%と続いている
- ・ 参加したい内容としては「大会・イベントの運営や手伝い」が61.7%と最も多く、ボランティアの参加機会を提供できるかが課題となってくる

性別・年齢別 ボランティア参加率



（令和5年実施意識調査報告書 問27 P56）

参加したいボランティア活動



（令和5年実施意識調査報告書 問28 P57）

3.豊島区スポーツ施設について

①豊島区スポーツ施設一覧

	施設名	開設年度	施設内容	令和5年度 利用者人数
①	豊島体育館	S42.9.16	競技場、トレーニングルーム、 体育室	76,535人
②	巣鴨体育館	S47.12.17	競技場、トレーニングルーム、体育室、温水 プール	154,312人
③	雑司が谷体育館	S62.10.1	競技場、体育室、温水プール	83,160人
④	池袋スポーツセンター	H11.7.11	武道場、トレーニングルーム、温水プール、ス タジオ	353,175人
⑤	総合体育場	S23.10.1	野球場、テニス場、弓射場、体育室	119,586人
⑥	南長崎スポーツセンター	H25.4.1	競技場、温水プール、スタジオ、トレーニン グルーム、多目的広場	324,993人
⑦	西巣鴨体育場	S59.2.1	テニス場、アーチェリー場、多目的広場	13,796人
⑧	荒川野球場（区外）	S52.11.12	野球場	20,705人
⑨	三芳グラウンド（区外）	H6.4.15	野球場、テニス場、運動場	53,194人
⑩	千早スポーツフィールド	R6.10月	運動場、テニス場	

3. 豊島区スポーツ施設について ②豊島区スポーツ施設（地図）

豊島区 体育施設



- ・令和6年5月時点で、区内**7**施設、区外**2**施設ある。
- ・千早スポーツフィールドについては**令和6年10月開設**予定。
- ・昭和にできた施設が半数以上で老朽化が課題となる。
- ・スポーツ施設の利用は、「豊島区公共施設予約システム」より行う。

～参考～

施設の利用に対して望むこと

（令和5年実施意識調査 問23より）

- 施設数、設備の増加
- 設備の最新化
- スポーツ教室の充実
- 健康・体力相談の実施

などが挙げられました。

全体の
40%

4.障害者のスポーツについて

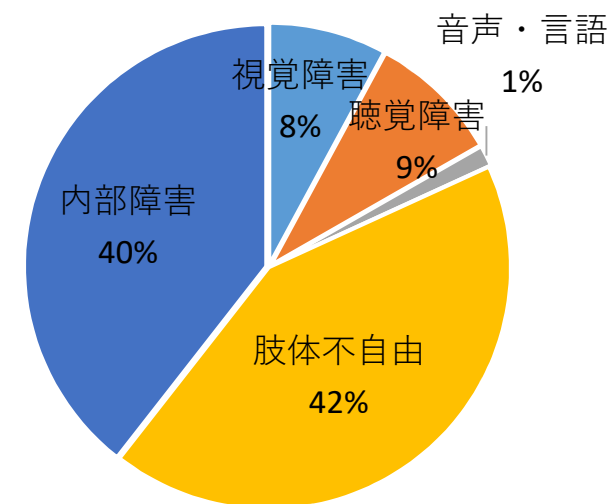
①障害者の現況

- ・令和4年度時点での豊島区の手帳所持者数は**6,191人**となっている
- ・種類別にみると、肢体不自由が一番多く内部障害が次に多い
- ・障害のある方への理解を深める、スポーツをしやすい環境づくりが課題となってくる

身体障害者手帳所持者数

年度	国	東京都	豊島区					
			区総数	視覚障害	聴覚障害	音声・言語	肢体不自由	内部障害
平成 25 年	5,252,242	479,527	7,282	611	566	95	3,644	2,366
平成 26 年	5,227,529	482,223	7,687	623	600	98	3,861	2,505
平成 27 年	5,194,473	465,324	7,754	628	622	108	3,811	2,585
平成 28 年	5,148,082	467,203	7,742	626	620	109	3,745	2,642
平成 29 年	5,107,524	471,080	7,636	617	608	103	3,614	2,694
平成 30 年	5,087,257	472,587	7,564	599	632	108	3,509	2,716
令和 元 年	5,054,188	488,905	7,552	597	632	97	3,459	2,767
令和 2 年	4,977,249	488,492	7,426	599	653	98	3,355	2,721
令和 3 年	4,910,098	487,827	6,325	492	569	81	2,719	2,464
令和 4 年	4,842,344	486,142	6,191	489	547	89	2,624	2,442

身体障害者手帳所持者数（種類別）



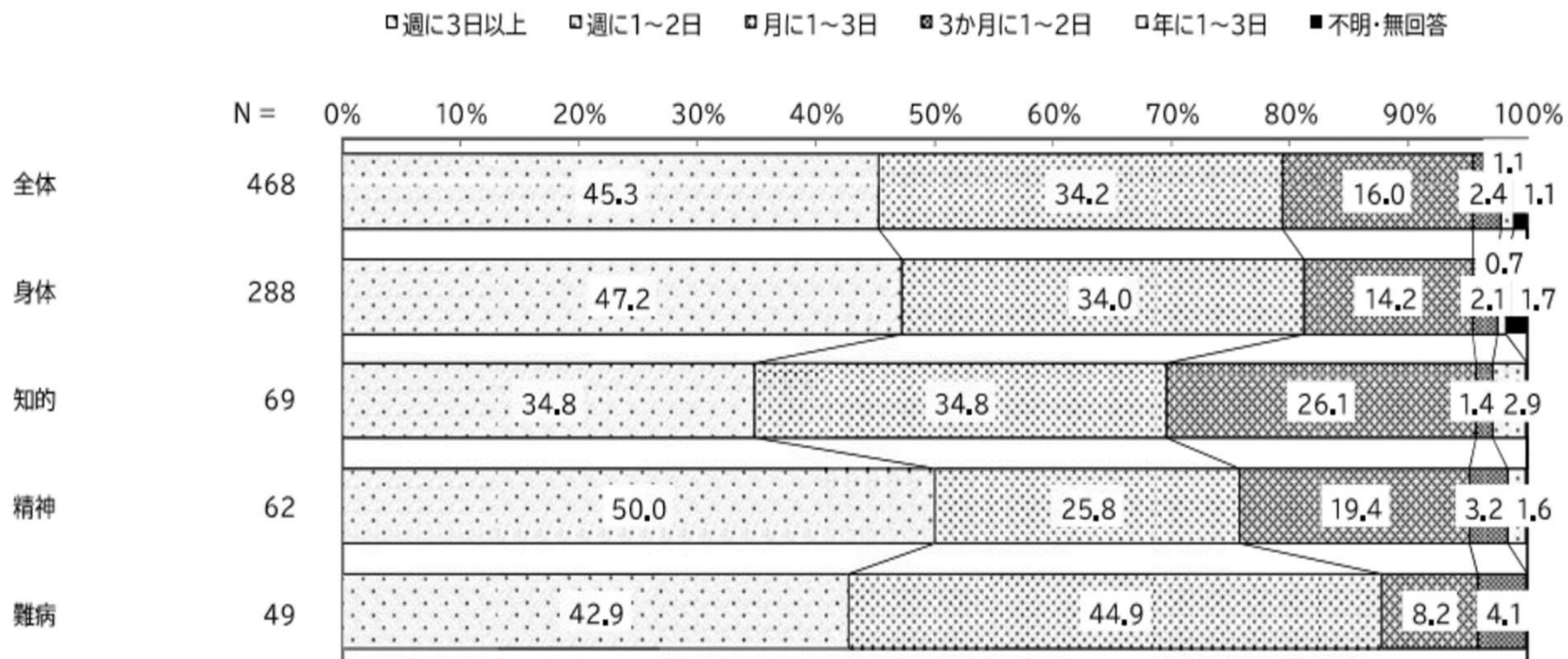
（R6年3月改定 障害者計画より）

4.障害者のスポーツについて

②障害者のスポーツ実施率

- ・ 全体では、「週に3日以上」の割合が最も多く、次いで「週に1～2回」が34.2%となっている
- ・ 障害別にみると、精神障害のかたが「週3日以上」の割合が50%と最も多くなっている
- ・ 障害者のかたがスポーツをしやすい環境づくりが課題となってくる

障害者のスポーツ実施率



(令和4年度実施豊島区障害者等実態・意向調査報告書より)

4.障害者のスポーツについて

③障害者のスポーツへの興味

- ・全体では、「**運動やスポーツに興味があるが行っていない**」割合が最も多い
- ・興味がある層に、スポーツを実施してもらうための環境づくりや働きかけが課題となってくる
- ・また、令和元年度の調査ではあるが下記右側の表によると行いにくいと感じることとして「体調や体力に不安がある」割合が多くなっている。

苦手意識の緩和や障害者のかたでも楽しめるスポーツの推進が課題となってくる

障害者のスポーツへの興味

			全 体	運動やスポーツへの興味			
				運動やスポーツ に興味があり、 すでに行ってい る	運動やスポーツ に興味がある が、行っていな い	運動やスポー ツに興味がない ため行ってい ない	不明・無回答
全 体			件 1835 % 100.0	468 25.5	760 41.4	411 22.4	196 10.7
調 査 票 種 別	身体(計)	件	1161	288	479	263	131
		%	100.0	24.8	41.3	22.7	11.3
	視覚障害	件	90	29	33	22	6
		%	100.0	32.2	36.7	24.4	6.7
	聴覚障害	件	93	22	48	17	6
		%	100.0	23.7	51.6	18.3	6.5
	平衡機能障害	件	21	7	6	4	4
		%	100.0	33.3	28.6	19.0	19.0
	音声・言語・そしゃく機能の障害	件	19	3	9	2	5
		%	100.0	15.8	47.4	10.5	26.3
	肢体不自由	件	484	112	200	129	43
		%	100.0	23.1	41.3	26.7	8.9
	内部障害	件	324	92	144	66	22
		%	100.0	28.4	44.4	20.1	6.8
	知的	件	272	69	82	76	45
		%	100.0	25.4	30.1	27.9	16.5
精神	件	191	62	85	33	11	
	%	100.0	32.5	44.5	17.3	5.8	
難病	件	211	49	114	39	9	
	%	100.0	23.2	54.0	18.5	4.3	

(令和4年度実施豊島区障害者等実態・意向調査報告書より)

障害者のスポーツをするうえで困ること、行いにくいと感じること

		回答者数	スポーツ施設への移動を介助する人がいない	スポーツ施設の受け入れ体制が不十分である	スポーツ施設がバリアフリーでない	スポーツや運動を介助する人がいない	教えてくれる人がいない	一緒に運動やスポーツができる友人がいない	運動やスポーツができる場所を知らない	費用が高い	障害が重度である	体調や体力に不安がある	運動やスポーツに興味がない	その他	行いにくいと感じていない	無回答
全体		人数 構成比	1,638 3.3%	54 4.0%	65 2.4%	40 4.3%	70 6.6%	207 12.6%	114 7.0%	212 12.9%	138 8.4%	515 31.4%	166 10.1%	92 5.6%	289 17.6%	315 19.2%
身体(計)		人数 構成比	850 3.8%	32 4.6%	39 3.6%	31 4.0%	34 6.4%	54 10.0%	64 7.5%	76 8.9%	107 12.8%	246 28.9%	76 8.9%	43 5.1%	157 18.5%	164 19.3%
身 体	視覚障害	人数 構成比	61 6.6%	4 11.5%	7 9.8%	6 9.8%	6 11.5%	7 9.8%	6 3.3%	2 8.2%	5 8.2%	12 19.7%	6 9.8%	1 1.6%	13 21.3%	11 18.0%
	聴覚障害	人数 構成比	67 3.0%	2 3.0%	2 4.5%	3 1.5%	7 10.4%	11 16.4%	5 7.5%	4 6.0%	2 3.0%	11 16.4%	8 11.9%	4 6.0%	14 20.9%	15 22.4%
	平衡機能障害	人数 構成比	13 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 15.4%	2 15.4%	0 0.0%	4 30.8%	6 46.2%	2 15.4%	0 0.0%	3 23.1%	2 15.4%
	音声・言語・そしゃく機能の障害	人数 構成比	22 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.5%	2 9.1%	0 0.0%	3 13.8%	3 13.8%	5 22.7%	3 13.8%	1 4.5%	6 27.3%	5 22.7%
	肢体不自由	人数 構成比	374 5.1%	19 5.9%	22 5.9%	16 4.3%	22 5.9%	36 9.6%	34 9.1%	31 8.3%	70 18.7%	101 27.0%	39 10.4%	19 5.1%	59 15.8%	74 19.8%
	内部障害	人数 構成比	269 1.9%	5 2.2%	6 1.9%	5 1.5%	4 3.3%	9 8.9%	24 7.8%	21 10.4%	28 7.8%	21 37.5%	101 6.7%	18 5.2%	14 22.7%	45 16.7%
	知的	人数 構成比	236 5.9%	14 4.7%	11 0.8%	2 9.7%	23 11.0%	26 18.2%	14 5.9%	29 12.3%	12 5.1%	36 15.3%	38 16.1%	17 7.2%	36 15.3%	60 25.4%
	精神	人数 構成比	183 1.1%	2 3.8%	7 0.0%	0 2.7%	5 9.3%	17 16.9%	12 6.6%	31 16.9%	7 3.8%	63 34.4%	22 12.0%	13 7.1%	29 15.8%	37 20.2%
参 考 前 回 (全 体)	難病	人数 構成比	369 1.6%	6 2.2%	8 1.9%	7 2.2%	8 3.0%	11 13.0%	48 6.5%	24 20.8%	12 3.3%	78 46.1%	30 8.1%	19 5.1%	67 18.2%	54 14.6%
		人数 構成比	1,595 2.8%	44 3.7%	59 2.1%	33 5.3%	84 7.7%	123 14.4%	134 8.4%	215 13.5%	134 8.4%	537 33.7%	152 9.5%	95 6.0%	247 15.5%	269 16.9%

(令和元年度実施豊島区障害者等実態・意向調査報告書より)

5.子どものためのスポーツ施策

①区民による事業提案制度

- ・令和5年度に「豊島区民による事業提案制度」を実施
- ・区民投票の結果等を踏まえ、「スポーツのチカラで子どもたちの健康な未来を築こう」が選定された
- ・令和6年度は1,000万円をかけて区民のニーズに応じていく

事業内容

- ①プロスポーツ選手等を招いて実施する
スポーツ教室
- ②パラスポーツ体験等スポーツイベントの拡充
- ③スポーツ施設の開放による子どもの居場所・遊び場づくり

③はすでに実施開始

- 1.総合体育場の野球場 金曜日 16時～18時
 - 2.南長崎スポーツセンターの多目的広場
火・木曜日 14時半～16時半
- 上記2施設は指定の日時を一般開放している。
また夏季限定で屋内施設も開放予定。
いつでも子どもが遊べるような環境づくりを目指していく。

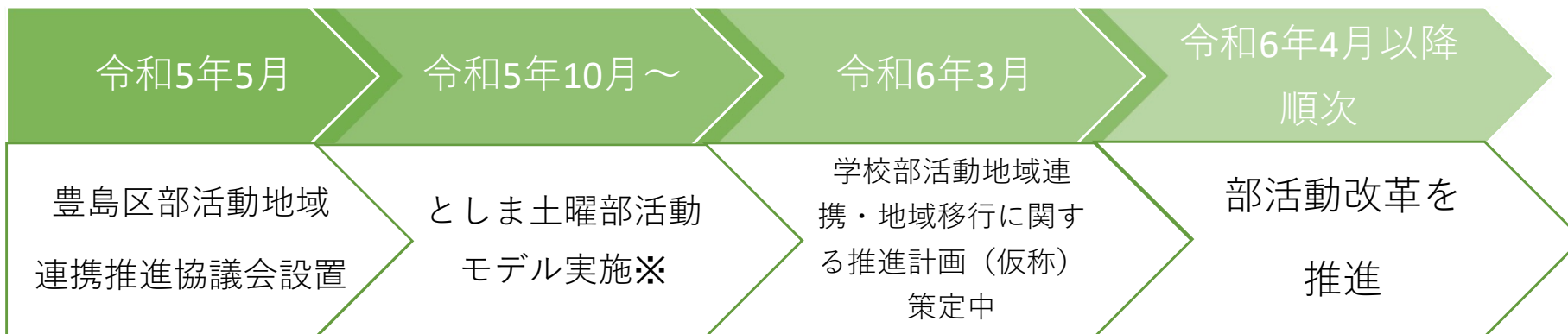
区民による事業提案の中から選定された6事業



6.部活動の地域移行について

①豊島区の部活動の地域移行について

スケジュール



※ダンス部、プログラミング部（ドローン）、音楽部が対象

そもそも
「**地域移行についてよく
知らない**」という声もあり

◎意識調査（問29）で問題や課題を聞いてみました

上位3項目 ①指導者の確保やレベル ②児童生徒の安全上の不安 ③保護者の経済的負担

まずは、**地域移行についての理解を深めることが重要！**

次に問題や課題の解決に向けて進んでいき、学校部活動の地域移行を推進していく。